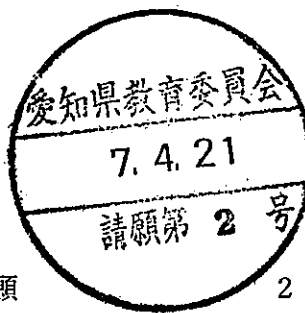




愛知県教育委員会 川原馨教育長様

請願

2025年4月21日

請願人 行政を考える住民の会

事務局 宮崎邦彦

連絡先 〒

年度初めに、各学校で「落雷」の兆候に対応できる体制のための研修等を行うことをもめる請願

請願の趣旨

- 1 落雷で重体中学生2人に 奈良 発生時 122人が活動（資料1 2025年4月12日 読売新聞）報道。部活動中の事故である。
- 2 天候変化急激で防げず （資料2 2025年4月13日 読売新聞）報道。
サッカー部の顧問3人は、当日午前に発表された雷注意報を認知していなかったという。とある。
天候の変化には注意しており、・・・雨雲の情報を調べようとしたものの、直後事故が起きた。とある。
注意報を把握していたが、対応できなかったという。とある。
- 3 落雷年間通じリスク 奈良で2人重体（資料3 2025年4月12日 朝日新聞） 野外での落雷防止事故、どう防ぐ？
- 4 日本サッカー協会の落雷事故防止対策は、（1）落雷の危険・兆候が確認されたら躊躇なく活動を中止すること（2）雷注意報や兆候がある場合は専門的なサイトで常時天気情報を確認することとしています。（資料4 YAHOO!ニュース 2025 4/12配信 朝日新聞）
- 5 文科省の各都道府県教委への通知では、落雷の兆候と対応として「厚い黒雲が頭上に上がった際は、雷雲の接近に注意する」「かすかでも雷鳴が聞こえる際には落雷の危険がある」落雷の危険がある場合は、すぐに安全な場所へ避難する」ことを記載。
避難場所の例として、鉄筋コンクリートの建物や自動車、バスなどを挙げた（資料5 YAHOO!ニュース。2025 4/16配信沖縄タイムス）とある。
- 6 年度初めには、各学校において、上記資料にあるような、具体的対応内容等含め、職員に周知徹底がなされることが必要であるといえる。
当然各学校でなされているという（想定でなく）、ことでなく、教育委員会において、各学校、周知されているかどうかの把握がなされる必要があるといえる。

請願事項

- 1 年度初めに、各学校で、落雷事故等事例について、及び、防止のための研修を行うこと。（研修内容については、その内容等を記録しておくこと）
- 2 各学校においては、落雷事故防止のために、学校として天候等の情報収集及び、対応について、明確にしておくこと。
- 3 落雷事故防止について、児童生徒・保護者に対しても（学校の取り組みについて）公

表・説明をしておくこと。

添付資料	資料1	2025年4月12日	読売新聞
	資料2	2025年4月13日	読売新聞
	資料3	2025年4月12日	朝日新聞
	資料4	2025 4/12配信	YAHOO!ニュース 朝日新聞
	資料5	2025 4/16配信	YAHOO!ニュース沖縄タイムス

口頭意見陳述希望